

# ルルドの丘



2018  
9月  
No.42

社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな



▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします。 ▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします。

# みことば

## “手の温もり”

病気や怪我で苦しんでいるとき、その苦しみの半分は不安と恐れ。  
だから、誰かがそばにいて手を握ってくれるだけで、  
苦しみは半分に減ります。  
どんな高価な鎮痛剤も、人間の手の温もりにはかないません。  
一片柳浩史 こころの深呼吸よりー



# きらりん

## あゆみの広場の夏の集い

7月12日、あゆみ棟のホールと多目的ホールで夏の集いを開催しました。今年は海をテーマにしました。以前、空調工事の時、床から天井に棒を立て、ブルーシートを張って工事場所を仕切っているのを見て、「ブルーシートで水族館ができるいいなあ」と思っていたら、業者の方から棒を頂けて、集い前日には、営繕課の協力を得て、大きな水族館を作ることができました。水槽に見立てたブルーシートに手作りの海の生き物を貼り、より雰囲気を出すために、ホールを暗くして、イルミネーションの明かりを足下に置きました。そして利用者さんは、甚平や浴衣を着て参加しました。入り口には、スズランテープで波に見立てた暖簾を作り、「暖簾の奥には何があるのだろう」というワクワク感と暖簾が顔に触れる感触を楽しんでもらいました。水族館ゾーンに入ると、明るい空間から薄暗い空間に入った途端に目線をパッと変えたり、あちこち見まわす利用者さんもいました。そばにある多目的ホールは、壁に海の生き物を貼り、さわやかな香りがする空間になりました。この部屋に5名程集まると、パッと明かりが消え、青いイルミネーションが天井を照らし、壁にいた生き物が光りだす、ちょっとした仕掛けを用意したところ、生き物が光だした瞬間、支援者やご家族から「ワー！」という声と利用者さんの表情に変化が見られました。オーケンドラムで波の音を出すと、「まるで海の中にいるみたい！」なんて、思ってくれたら最高です！水族館の外では、金魚すくいと魚釣りコーナー、そして楽しい夏のひとときを写真に残す撮影コーナーも設けました。利用者さんもご家族も支援者も和気あいあいと楽しく過ごすことができました。



(保育士 後藤祐子)

## ボランティア公演 人形劇研究会スマイリー

7月21日にボランティア公演がありました。「別府大学短期大学部 人形劇研究会劇団マーブル」が幕を閉じ、今回、初めて講演となる、「別府大学短期大学部 人形劇研究会スマイリー」が来てくれました。入所利用者と潔き聖母の家の利用者の45名、託児所2名が鑑賞しました。

オープニングは、プラスティックのカップで机や手を使ってリズムをとるカップスで、人形劇では、「森の音乐会・おむすびころりん」が上演されました。会場も手拍子をして、笑顔があふれて、楽しい時間を過ごすことができました。代表者から「楽しかった」とお礼の言葉や感想が聴かれ、劇団スマイリーの皆さんも喜んでいました。潔き聖母の家の利用者からも「楽しめた」という感想をもらうことができました。「また、来年も楽しみに待っています」と力強く拍手をした利用者もいました。スマイリーの皆さんからは、手作りのステキなペンダントを頂き、終了後、参加者はスマイリーのテーマ曲でお見送りを受けました。とてもあたたかい雰囲気の中で、楽しい時間を過ごすことができました。人形の細かい動きやリズミカルな音楽、場面展開の驚きと楽しさを感じる公演でした。



(保育士 佐藤彩花)

※表紙写真：大茶会の旗を恵の聖母の家にも立てました。たくさんの交流や社会参加となりますように。

# 卷頭言

施設長 佐藤 圭右

この七月に、とある研究会で、「子どもの村東北」に見学に行く機会を得ました。子どもの村とは、実は世界各国にある組織で、日本では子どもの村・福岡が最初だったようです。そもそも、第二次世界大戦で親を失った子どものためにオーストリアで設立されたもので、「すべての子どもに愛ある家庭を」というスローガンを掲げています。

子どもの村東北は、想像されているように、二〇一一年三月十一日の東日本大震災で親を失った子どもたちの支援のために設立されました。しかし今では、それ以外にも、親の病気や経済的理由など、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもたちに、「愛され、守られている」と感じることのできる家庭環境を保障し、地域のなかで豊かな子ども時代を送ることができるよう、永続的な支援を行って（ホームページより）行くそうです。

では、親のいない子どもの支援は、一般的にはどうされてい るのでしょうか？ 自分と同じ

世代の皆さんであれば、タイガーマスクに出てきた「ちびっこハウス」という養護施設を思い出す人も多いでしょう。しかし、現在、児童養護施設は全国的には縮小傾向にあります。それでは、どういったものに変わっているのでしょうか。

今、政府が進めようとしているものは、里親制度です。つまり、いろいろな事情で家族と暮らせない子どもたちにも、施設ではなく、「家庭」を提供しようとしているそうです。子どもの村は、そのような考え方の下、子どもと里親候補の皆さんをそこで引き合わせて、一緒に暮らせるように、言わば「練習」していくものです。それ以外にも、子どもの村が中心となって、一時預かりや専門的な支援、地域支援も行っているそうです。

震災で被災した子ども以外にも、虐待などで被害を受ける子どもの一時保護なども想像できますが、お話を伺うと、警察に逮捕された親（シングルマザー？）の子どもなども、一時

保護をしているという事実もあります。しかし、一方で、児童養護施設は無条件に愛されるものでしょ うが、そうではない子どもも残念ながらいます。その場合、愛されていることを確かめる行動をとり、それが素直に出る場合と逆の行動をとる（親の嫌がることをする）場合と、あきらめてしまう場合といろいろあることがあります。しかし、子どもをめぐる問題（一九六〇年）は二万人超えだったのですが、今では九千人から、最近は九千人割れをしています。

大分県の年間出生数は、かつて（一九六〇年）は二万人超えだったのですが、今では九千人から、親のいない子どもから、被虐待児（虐待されている子ども）、いじめ、そして、貧富の格差などますます広がっているようです。

お年寄りのための政策も必要でしょうが、声を上げることができない、（数が少なくなつてく）貴重な子どもたちを、しっかりと守れる社会に私たち大人はしていく責任があると思われます。

会を目指すような行動をされているそうです。しかし、一方で、要保護児童対策地域協議会というものが、そこでは虐待に対する対策などが検討されます。そこでも自立支援協議会の役割に期待されているようです。

大分県の年間出生数は、かつて（一九六〇年）は二万人超えだったのですが、今では九千人から、親のいない子どもから、被虐待児（虐待されている子ども）、いじめ、そして、貧富の格差などますます広がっているようです。

お年寄りのための政策も必要でしょうが、声を上げることができない、（数が少なくなつてく）貴重な子どもたちを、しっかりと守れる社会に私たち大人はしていく責任があると思われます。



# ヴォイス

## 放射線課



### 暑いです

放射線技師 清永 高明

毎年暑いのですが今年は特に暑く感じます、理由は簡単、家のエアコンが壊れたからです。幾ら外が暑くてもエアコンさえあれば平気なのですが、エアコンが無いとなれば話が違います、扇風機等は室内的温度が三〇度を超えると熱風を送るだけで全然涼しくありません。オマケに湿度が六〇%を超えると不快指数は、がぜん跳ね上がります。私が子供の頃はエアコン等は無い家が多く、扇風機で済ましていたものですが、最近の夏は暑すぎて耐えられない気がします。そこで日本の最近の気候について調べてみました。

調子に乗つて江戸時代に遡つて調べてみましたのが、日本で継続的に気温が計測されるようになったのは明治八年（一八七五年）からなので、正確な気温はここ一五〇年程しか調べられませんでした。それでも江戸時代の記録に雪が二m程積もつたと言う記録等が残っているので、現代よりはかなり気温が低かったのは間違いないようです。

体感温度で言えばかなり温度が上がつている感じがしていたのですが、実際の気温の上昇はこの一五〇年で一五度程度、予想よりもかなり低い感じです。いやまあ実際に温度が上昇しているので問題なのです

が……。

では何故一五度以上の温度変化がある

ように感じるのでしょうか？ 部屋の温度計を毎日眺めていたら部屋の温度は夜になつても下がっていないことが分かります。昔



今日は熱中症で何人か亡くなつています。現代ではエアコンがなければ生活できないようになつてきたと言うことですね。都会ではエアコンが生きていいく上で必要なのだ、と言うことです。夜暑くて耐えられないのは私の根性が足らないのでは無く、現代社会せいなのだと言うことです。つまり昔のように寝る為には、エアコンはつけっぱなしで寝た方が昔の気温に近いと言うことです。これは決して、私の根性が足らないせいでは無いはずです。

は昼間は暑くても、夜はある程度気温が下がつていました。ところが、最近では夜になつても気温が下がりません。そうですが、ヒートアイランド現象のせいです。アスファルトで固めた上に昼間の温度を保つままの巨大なビル、排熱するエアコンや車、各種電気機器等、これらの影響で夜になつても全然気温が下がらないのです。これらが無い田舎ならば、夜はエアコンも扇風機も要らない位の気温なのは、今でも同じです。

七月十五日、「第一回 恵の聖母の家公開講座」を開催しました。第一回目の今回は、「発達障害」をテーマにして、地域の保健師さんや保育園・幼稚園の先生などに案内しました。内容は、まず、「人生いろいろ、その子もいろいろ」というタイトルで佐藤圭右施設長に講義をしていただきました。そして、児童発達支援センター・竹尾昭彦主任に、外来保育キッズの紹介を長野祐子外来保育士に、訓練士の役割を兒玉敬祐主任に、それぞれお話を聞いていただきました。

今年の夏は大変暑く、また、日程が連休中日でしたが、保育士さんや、保健師さん、保健師以外の市役所職員の方を中心五十名を超す方に参加していただきました。参加後は、先生の講義内容がとてもよかったです、センターについて詳しく知りたい、外来保育を実際に使いたい、訓練士さんが話していた保育所等訪問を受けたいけどどうしたらよいかなど反響がありました。これも、お忙しい中、公開講座に向けてスライドや発表練習など準備していただいた演者の皆様と、快く当日スタッフを引き受けくださいました皆様のご協力のおかげだと思っています。心から感謝しています。

## 地域連携室



### 公開講座

地域連携室主任 工藤 佳絵

地域連携室は「地域の方の力になり、地域のコミュニティになること」が大切です。地域の方に恵の聖母の家を知っていただけ、皆さんのお力になれるよう、これからも一つ一つ丁寧に考えていくかと思います。参加していただいた皆様、ありがとうございました。



<発達について>



<訓練について>



<発達外来の見学会>



<外来保育について>

# ヴォイス



▼各部署の声です。今年度の目標「共同」共に輝き成長する

恵の聖母の家に就職して一年四か月が経ちます。毎日学ぶことがたくさんあり、業務にもやっと慣れてきました。ですが、就職と同時に始めた一人暮らしの寂しさにはまだ慣れず、予定のない週末には実家に帰つて過ごすことがほとんどです。

私が実家に帰つて一番楽しみにしていることは、飼つている猫と遊ぶことです。スコティッシュフォールドは犬のような性格で、とても人懐っこいといわれています。レオの性格もまさにレオといいます。スコティッシュフォールドは、とても人懐っこいといわています。その通りで、目が合うとすぐに遊びに誘われたり、おやつを要求されたりしています。

そもそもなぜレオを飼うことになったかというと、たまたま見ていた猫カフェの広告がきっかけでした。猫カフェに行つてみたいなと思いながら、何気なく見ていたページに、「譲ります」という言葉とレオの写真が載つていたのです。写真で見たレオは、ぬいぐるみのような目をしていて、とても可愛く、一目ぼれしたのを覚えていました。すぐに猫カフェの店長さんと連絡をとり、レオに会いに行くことになりました。実際に会つてみると、写真とは全然違います。すぐに猫カフェの店長さんと連絡をとり、レオに会いに行くことになりました。実際に会つてみると、写真とは全然違いました。でも、どうしても猫が飼いたかったので、実家に連れて帰ることにしました。家に来たばかりの頃は、子猫だったことで、私たちが食事をしている時に、

惠の聖母の家に就職して一年四か月が経ちます。毎日学ぶことがたくさんあり、業務にもやっと慣れてきました。ですが、就職と同時に始めた一人暮らしの寂しさにはまだ慣れず、予定のない週末には実家に帰つて過ごすことがほとんどです。

私が実家に帰つて一番楽しみにしていることは、飼つている猫と遊ぶことです。スコティッシュフォールドの男の子で、名前はレオといいます。スコティッシュフォールドは、とても人懐っこいといわっています。その通りで、目が合うとすぐに遊びに誘われたり、おやつを要求されたりしています。

レオの性格もまさにレオといいます。スコティッシュフォールドは、とても人懐っこいといわっています。その通りで、目が合うとすぐに遊びに誘われたり、おやつを要求されたりしています。

## 訓練課



### 実家での楽しみ

理学療法士 山口 真子



テーブルの上にのぼつてお皿をひっくり返したり、お腹がすくとトイレの砂を食べたいたずらばかりで全く落ち着きのない猫でした。レオを飼い始めてもうすぐ一年になります。今でも多少のいたずらや、子供っぽさを感じることもあり、何でも食べてしまつところは変わつていませんが、顔つきは柔らかくなり、落ち着きも出てきて、少しは大人に近づいてきているかなと感じています。これからも健康で、元気に成長してほしいです。

最近は、一緒に過ごせる時間が前よりも減つてゐるせいか、遊び過ぎると目がかゆくなったり、くしゃみが出たり、アレルギーかなと思うような症状が出るのが残念ですが、また実家に帰つて、レオとたくさん遊んで癒されようと思ひます。

## 生活福祉課



### 介護福祉士として

介護福祉士 植田 真穂



私が介護福祉士になりたいと考えたのは、中学生の時でした。学校の授業の一つか職場体験で「恵の聖母の家」に行き、初めて介護の仕事を体験しました。体験内容は食事介助など、利用者さんの生活のお手伝いが主で、利用者さんの笑顔を見て、この仕事がしたいと思いました。また、実際に車いすを後ろ向きにした方が、座つている車いすに座つて、どのような介助が良いのかも体験しました。「緩やかな下り坂では、車いすを後ろ向きにした方が、座つている人が安心する」ということを知りました。何より、指導に当たつた担当者の動きが丁寧で、「これが介護福祉士」「こんな人にやりたい」と思つたのを覚えています。

福祉について学びたかったので、高校は福祉のある学校を選びました。授業では、福祉の仕事に就いたら、絶対必要になると考へながら、介護福祉士になるための勉強を頑張り、無事に資格を取得し、「恵の聖母の家」に入職することができます。

一年目は、社会で働くという経験がなかつたので、社会人としてのマナーや常識などがわからませんでしたが、当施設の法人研修や全国の療育学会など、いろいろな研修に参加させていただき、少しづつ学ぶ

ことができました。また、利用者さんとのコミュニケーションも難しく、利用者さんの言葉をなかなか理解することができませんでしたが、毎日諦めずに利用者さんと関わり、いたずらばかりで全く落ち着きのない利用者さんと何を伝えたいのかを理解することができました。どうしたら良いか困る時もありましたが、そんな時は、いつも利用者さんの笑顔や職員からの優しい言葉があつて、沢山救われました。途中で諦めることなく、介護福祉士として仕事を続けることができました。今でもわからないことがあります、一年目よりも楽しく仕事ができるようになりました。

利用者さんが、毎日笑顔で楽しく過ごしていくただくことが私の夢なので、「これからもその夢に向けて、私自身、笑顔を忘れずに頑張つて行きたいと思います。



### 第35回 ふれあい運動会 6月16日 地域交流ホーム

今年のテーマは、入所利用者が考えた、「運動会 みんなの気合でさあ出発だ!!」でした。来賓挨拶では臼杵市長から、「臼杵市は、子どもから高齢者まで障がいのある人もない人も住み心地一番のまちづくりを目指している」「みんなの元気は行政にも元気を与えてくれる」という嬉しい挨拶がありました。競技内容は、「引っ張る」「图形を型にはめる」「握る」「たたく」等の操作性を活かした内容で、選手も会場も大いに盛り上がりました。今年は、白組が赤組に大差をつけて優勝しました。今回もボランティアの皆さんのお陰で、楽しく、賑やかな運動会を安全に行うことができました。ありがとうございました。

### 防犯 7月19日

朝日警備保障株式会社の指導の下、不審者から利用者や自身を守る護身術を学びました。不審者に向かい合った時の足の運び方や、つかまえられた時の身体の動かし方等を、職員同士で行うことで、気をつける点がよくわかりました。また、昨年も行った「刺叉」の使い方も再確認しました。不審者が出ないことが一番ですが、もしもの時に備えて、心していきたいと思います。



### 夏の集い 8月9日 ひかりの大地

ひかりの大地の入所利用者とご家族で、夏の集いを行いました。今回は、ずばり、盆踊りです。病棟ホールの柱を中心に提灯をさげて、盆踊り会場を作りました。踊る曲はチキンリンドバーグ。実は、恵の聖母の家では、昔、夏祭りを夜に行っていて、その時踊っていたのがチキンリンドバーグでした。手にしたバチが「カチッ、カチッ」と鳴る音を、懐かしく感じた人も多かったようです。踊りの後は、綿菓子やかき氷等を楽しみました。職員が作る綿菓子は、雲のようなふわふわとした感じにはならなかったものの、甘い味に、皆さん、笑顔で食べていました。最後はスイカ割りを行い、楽しい時間を過ごしました。あゆみの広場、のぞみの丘の夏の集いの様子は、2頁“きらりん”をご覧下さい。



### スマiley公演 7月21日

毎年、ボランティア公演に来てくれた別府大学短期大学部人形劇研究会マーブルが、今年はスマileyとして来てくれました。コップを用いたパフォーマンスのカップスや人形劇で、会場をとても楽しませてくれました。スマileyの皆さん、ありがとうございました。(詳しくは2頁“きらりん”をご覧下さい)。



### 2018年度 新職員オリエンテーション 4月2日

2階会議室で、新職員を対象としたオリエンテーションが開かれました。施設長、副施設長、事務長からは、それぞれ、「障がい児医療」「理念」「就業規則」について、また各部会や部門からは、委員会活動や業務内容の説明がありました。新職員からは、「ありがとうございます」「ごめんなさい」「いかがでしょうか」の言葉が心に残った」「この3つの言葉で頑張っていきたい」との感想や意気込みが聞かれました。



### 支援学校訪問教育始業式 4月12日

恵の聖母の家のあゆみの広場で支援学校訪問教育学級の始業式が行われました。今年度から新しく就任された川野校長先生からは、挨拶の中で3つのお願いがありました。「自分なりのやり方で良い挨拶をしよう」「いろいろなお友だちと一緒に活動しよう」「いろんなことに挑戦しようね」です。続いて担任発表がありました。生徒からは、春休みの生活の様子を発表しました。新年度もいろんな勉強ができますように。



### 防災訓練 5月31日

恵の聖母の家全体で、臼杵市消防署野津分署の指導の下、防災訓練を行いました。今回はスタッフルームからの出火を想定して、入所利用者の避難訓練を行いました。消防署からは、「初期消火の対応がしっかりできていたこと」「出火発見者の周りへの周知や避難後の点呼もよくできていたこと」等の評価をいただきました。避難訓練の後は、消火器の取り扱いの説明や実践が行われ、避難誘導等、よりよくしていくための助言もいただきました。



### 平成30年度公益社団法人日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会 5月22日

兵庫県神戸市の神戸芸術センターにて、平成30年度公益社団法人日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会が開かれ、永年に亘って重症心身障害児者に尽力された職員の永年勤続者表彰式並びに協会認定重症心身障害看護師認定証授与式も行われました。当施設からは10年表彰が2名、そして1名が協会認定重症心身障害看護師認定証を受けました。表彰、認定を受けた皆さまおめでとうございます。これからも質の高い看護、訓練、療育をよろしくお願ひします。



### 5月24日 道の駅きよかわ

行きの車内では眠そうな参加者も、道の駅につくと眠気も覚め、活動では笑い声が聞かれる等、気持ち良く過ごす様子がみられました。目を閉じていた参加者もタッピングで働きかけると、手足を動かし笑顔をみせ始めて、違う場に来たことを感じとった様子でした。室内より外気に触れる方が、よく起きている雰囲気もありました。買い物では、所属しているクラブ活動(園芸)に必要な苗(トマトやバジル)を買う入所利用者もいました。散策では、車いすが停まる嫌がっていた人も、ソフトクリームを目にすると、口を開けて食べるなど、おやつを楽しみ、支援者と関わりを楽しむ入所利用者もいました。



### 6月21日 リバーパーク犬飼(雨の為マルショク臼杵店)

日頃、緊張して声を上げてしまう入所利用者も、いつも握っているものを手にすると、お客様が近づいても落ち着いて過ごしていました。他には、実習中の看護学生の声かけに良い表情を見せていたり、買い物で髪飾りや化粧品を実習生と一緒に購入し、カラフルな色の商品によく目を向けている入所利用者がいました。



### 6月28日 パークプレイス大分

活動前から元気がよく、車内でいろいろと話す人、また音楽が好きな入所利用者は、レコード店でヘッドフォンを耳にすると、CDの音楽に体でリズムをとって楽しんでいました。買い物では、どの商品にするか、2つを示すと、選びやすい様子もみられました。昼食はよくおきて食べても、食後はほっとしたのか、眠そうな人や、サラダとアイスティー付のハンバーグステーキを注文した人は、施設で食べる時以上に味わって食べていました。他にも書店では、選ぶ時に嬉しさから声をあげた人、食後の買い物では、笑顔で声をあげて、午前とは違う様子をみせた入所利用者もいました。事前に用意した買い物リストがとても参考になりました。



### 7月5日 臼杵マルショク

参加者は、出発前から笑顔が多く、外出を楽しみにしている様子がみられました。買い物では、ハンカチや靴下などの日用品よりも飲み物の方を手にして、嬉しそうにしている人もいました。清涼用品の前では、よく起きていて、店内によく目を向けて、笑顔を見せていて、衣服を選ぶ時に体に当てられると、笑顔で応える入所利用者もいました。



### 4月26日 臼杵石仏

国宝臼杵石仏を観に行って、自然を楽しんできました。お土産屋さんもあり、店に出されている饅頭や臼杵せんべいを美味しく食べた入所利用者もいました。また、せんべいの工場が近くにあり、せんべいの焼ける香りや、できあがったせんべいを楽しんだ入所利用者もいました。芝桜がきれいに咲いていることを話しかけられると、「写真を撮りたい」と話が広がり、楽しい活動となりました。



### 4月26日 道の駅三重

山々と田園の景色が望める、道の駅三重に行ってきました。移動中の車内では、眠っていたり、少し落ち着かない様子の人も、到着後は、いちごの香りが漂う中、よく目をあけて、穏やかな表情を見せていました。買い物では、機嫌良く言葉を出したり、商品を目でよく追っていたり、自分の好きなものを買ったり、コーヒーを飲んだりして、楽しい時間を過ごしました。



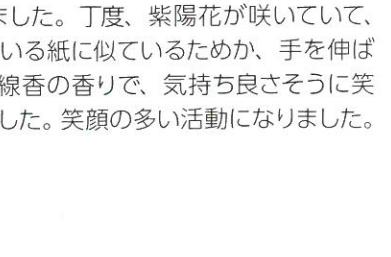
### 5月17日 佐野植物公園

植物園があり、芝生が広がる佐野植物公園に行ってリフレッシュしてきました。天気もよく、公園の散歩では笑顔が多くみられました。足浴場では、口を大きく開けて、笑う参加者や、いろいろな植物がみられる温室では、川のせせらぎの音や鳥の鳴き声が流れ、気持ち良さそうに花々を眺める参加者の姿がありました。帰園準備の時に、もう少しいい表情の参加者もいました。



### 5月24日 臼杵石仏

国宝臼杵石仏を観に行きました。丁度、紫陽花が咲いていて、花の横を通ると、日頃触っている紙に似ているためか、手を伸ばしたり、高台に上ると、風や線香の香りで、気持ち良さそうに笑顔をみせる入所利用者がいました。笑顔の多い活動になりました。





▼各部署の声です。今年度の目標 「共同」共に輝き成長する

## でやーじと

# 児童発達支援センターめぐみ

した。  
母の日は、各ご家庭で楽しんでいただけたことと思います。

### ◆三月（お花見）

春分の日を迎えて、曇の上では春がスタートしました。同時に寒さも幾分か弱まり、春の訪れを肌で感じられるようになってきました。そこで、敷地内にある桜の花見に出かけました。気候も良く絶好のお花見日和となり、参加した方も気持ちよさそうになりました。なんどりと賣ぐことができました。

### ◆四月（感覚刺激）

いろいろな感覚刺激を楽しむことを目的とした活動を試みました。たくさんのゴム風船を使って風船ベッドを作ったり、大きなバランスポールを使って、畳一畳ほどの風船ベッドの上に横たわると普段とは違う感触を背中に感じるのか気持ちよさそうにリラックスしている方がほとんどでした。



<お花見>



<風船ベッド>



### ◆六月（父の日・うちわ）

「いつもありがとうございます」の感謝の気持ちを込めて、バラの折り紙を用いて「うちわ」を作り、父の日のプレゼントにしました。毎日お仕事などでお疲れのお父さんも、このうちわで涼をとり、暑い夏を乗り越えていただきたいと願っています。

### ◆六月（ふれあい運動会）



<ふれあい運動会から>

### ◆七月（七夕）

今年の七夕の願いことは、「世界平和を願う」「健康で元気に過ごす」「アイドルや野球を行きた」「お店の商売繁盛」「美味しいものをたくさん食べたい」など、皆それぞれ、ご家族と一緒に考え、思い思いに短冊に願いを込めて書き込みました。願いが叶っていますよ。



<七夕さま>

護の利用者が練習の時と同じように素敵なお顔をみせて、会を開めてくれました。

## ちよつとーひー

スタッフ 生田 早苗

今年度は制作活動に力を入れています。

一月から十一月まで毎月、折り紙やステンシルなどを通して利用者に季節感を味わってもらっています。題材はユーチューブや雑誌、街で見かけたものをみて、費用を考えて、制作にとりかかっています。材料も、例えれば五月のハーバリウムは百均の造花やサラダ油を代用する等、お財布にも優しく取り組んでいます。制作したものは、皆に見てもらうために、センターの廊下に作品コーナーを設けて、しばらく展示し、その後、利用者がご家庭に持つて帰っています。

制作したものをご覧になつたご家族からは、「今年はちょっと手が込んでますね」と、嬉しい感想をいただいています。また、利用者送迎で、ご家庭をうかがった際、玄関に作品が飾つてあるのを見ると、やっぱり嬉しいですね。玄関に置いてある作品を目にしたご近所さんから、「これはどうしたの?」と聞かれるそうです。ご家族がデイサービスで作ったことをお話すると、「すごいねー!」と驚かれて、それが利用者、ご家族の楽しみにもなつていてるようでした。制作する時は、少しでも利用者が取り組めるように工夫していく、それもご家族の喜びになつているようです。

これからも利用者と家族、ご近所さんを持つながら活動をしていきたいと思います。



児童発達支援管理責任者 竹尾昭彦



頂こうと思ひます。では、私のお勧めの作品を幾つか紹介します。  
まずは【お伽草子】です。「いぶとりじいさん」「浦島太郎」「力チカチ山」「舌切雀」の昔話をパロディーに変えたストーリーになっています。よくこんな事を思いつくなあ…と、「ヤニヤシながら読み進めた一冊です。「太宰治は暗いから嫌いだ」と、深刻な作品のみを挙げて太宰を否定した「島田紀夫は」とある作家から『それなら君は「お伽草子」を否定できるのか!』と詰め寄られ二言も言い返せなかつたと言います。

次に紹介したいのが【畜大談】です。犬が大嫌いな男の話。本の冒頭は「私は自信がある。

その他にも【皮膚と心】【新釈諸国暦】【新友交歎】【トカトントン】など…挙げていけばきりがないのですが、私が今まで太宰治を読み漁つて、なぜこんなにも引き込まれるのだろうか?と考察した結果、たどり着いた答えは、太宰治が人の弱さを笑いに変える力をもっているからだと思います。悲しいはずなのに、なぜだか笑ってしまうのです。人間の弱さや、ダメな部分をさらけ出した主人公が出てくる作品は、読み手が「何だか、この主人公は自分と似ているな」と共感できる部分がたくさんあります。だけど決して悲観的ではなく、弱い自分と向き合ってきます。

皆さんは好きな作家がいますか？私は昔から太宰治が好きです。太宰治と聞いて多くの人が（暗い人）という印象を抱くかと思います。作品の中でも特に暗い【人間失格】が彼の代名詞のような有名作品になってしまった事と、太宰自身の弱い部分が多くの作品に残りすぎていること、そしてなにより太宰自身が入水自殺をしてしまった事が太宰治を暗い人だと印象づける原因になっているのは間違いない事実です。そのことから太宰の作品は暗くて読む気になれないと、面白くなさそう。と、毛嫌いしてしまう人も少なくはありません。今回この原稿を書かせてもらえる事となり、これは太宰治の魅力を多くの人に伝えられるチャンスなんじゃないか？と思い、彼の作品を少しですが紹介させて頂こうと思います。では、私のお勧めの作品を幾つか紹介します。

【るまん燈籠】という作品は五人の兄妹が魔法使いの娘ラプンツエルの話を書き継いでいく物語。書き手によつて文章にそれぞれの個性が分かりやすく出ていて面白い。展開も気になり次はどうなるの?と、どんどん引き込まれた作品でした。

【グッド・バイ】もお勧めで、過去の女性遍歴を清算していくとする男をユーモラスに描いた物語。私の読み終えた印象はまさに喜劇という感じです。主人公が何だかかわいらしく思えてきてクスッとしまいます。

犬に食い付かれる自信がある」という文章から始まるのですが、その内容があまりにも自虐的すぎて『いやいや、それ考えすぎやろ!!(笑)』と、突っ込まざるにはいられないような作品。読み終わるのを待ち良さも味わえます。

太宰治のススメ

看護助手 柳井 咲紀



管理課

家政  
竹尾  
幸子

の搬入が二十一時半あるうは二十二時か  
だけで、忙しくはなかったのですが、例  
で七百円以上お買い上げの方にはくつが二  
る」という企画が始まると、お客様がなが  
り、おつりを渡していくを引いてやがて、  
て、とても忙しい時期となっていました。

張工事もあったので、それが影響したのかもしれません。  
元々接客業の仕事が長く、そこで働くまで、千歳の郵便局の横にある、Aコーポで働いていました。Aコーポは小さいお店で、高齢なお客さんも多く、接客からレジまで、全てをこなさないといけないので大変でした。

セブンイレブンでは、夜二十一時から朝八時までの勤務でした。夜中の一時から四時の間はお客さんはあまり来ず、ただ、業者による商品の搬入が二十一時半あるいは二十二時からあるところで、忙しきはなうつむかですが、列えねばれません。

私は恵の聖母の家で働く前は、野津町のセブンイレブンで働いていました。場所は、農協の前にあります。残念ながら、今は無くなっています。駐車場は広かったのですが、車でまいりました。道路の拡張工事に入りにくかったのかなと思います。

した。お客様から、商品の良し悪しを聞かれましたこともあります。

現在、街には「コンビニ」が一店ほどになってしまいましたが、「デザート」の美味しいセブンイレブンが、再び街に戻つてくると嬉しいなと思っています。

ついになるねです。機会があれば皆さんぜひ読んでみてください。

まだまだ紹介したい作品はたくさんあります  
が、とてもじゃないけど、トトロには書ききれな  
いので今回ほんの辺で。

大変なことになるので、釣銭を間違えないよう  
に気をつきました。

働く中で「この商品欲しいな」と思つるものも  
いくつかありました。特に限定ものですね。飲  
み物とキャラクターのコラボ商品は欲しいと思  
うことがありました。コラボ商品以外にも、セ  
ブンイレブンには美味しい商品があります。お  
にぎり等、お米が他店よりも美味しいと評判  
だつたり、コーヒーも豆が違うからか美味しい  
とか、デザート関係の商品も美味しいと聞きました。  
お客様から、商品の良し悪しを聞かれ  
たこともあります。

景品はお酒だったり、ビールだったり…。割と嬉しい商品だったと思います。お客様の応対に困ることはありませんでしたが、夜起きておくのは大変でした。また、勤務が終わった後のお金の確認で、一円、十円でも合わないと、

い、自分を愛せるような気持ちにさせてくれます。毎日がなんだか退屈な人、自分は幸せじゃないな…と感じている人。そんな人は太宰をぜひ読んでみてください。彼の作品を読むと、平凡で退屈な日常が今までと少し違つて感じる上

うになるはずです。機会があれば皆さんもぜひ  
読んでみてください。

まだまだ紹介したい作品はたくさんあります  
が、とてもじゃないけど、トトロには書ききれな  
いので今日はこの辺で。



## 保護者の皆様から



### 通つて半年

私には2人の子がいて、2人とも女の子です。上の子は5歳で、もうすぐ3歳になる下の子をよくみてくれます。例えば、名前を呼んで、「ままごとをする？」みたいな感じです。下の子は、姉の言葉を真似するようになっていて、意味がわからない時でも、「する」と答えているようなんですね。なので、姉が言葉通りにして遊ぶと、下の子は自分の意志と違うので、怒ってしまって、上の子はちょっとがっかりしているようです。それでも、姉は妹をよくみてくれています。

姉の方は育ちが気になるところはなかったのですが、昨年、妹ももうすぐ2歳だなと思っていた頃、言葉が少なくて、かんしゃくが多い、そう感じることがありました。また、通っている地域の子育てサロンでは、行事や活動場面で目的を達成する前に泣いてしまうこともあったので、何かあるのかなと気になっていました。私が伝えたいことも伝わらない、と私自身、悩むものがありました。そこで、小児科の先生に、言葉などについてご相談したところ、「訓練するとよく話すようになるよ」と、恵の聖母の家を紹介してくれました。その後、恵の聖母の家に電話しました。それが昨年10月くらいです。

訓練を受けるための診察が12月で、それからかなと思っていたのですが、「保育士が1対1で遊んで相談にのる外来保育があ

りますよ」と、外来看護師さんが外来保育のことを教えてくれました。元々、外来保育というものを知らなかったのですが、保育士さんの対応と聞いて、どこか安心するところがありました。また、下の子は家族以外の人と1対1で遊んだことがなかったので、新鮮な感じを受け、楽しみを感じました。

外来保育の1回目、外来看護師さんが、「今日はこれをして、次にこれをしますよ」と順番をつけて遊んでくれました。うちの子は、聞いている感じもあったり、そうでない様子もありました。もう少し続けたい時は、泣いてしまったり、あっちに行ってほしい意味で、バイバイをしてしまうこともあります。

12月に診察を受け、作業療法と言語聴覚療法の訓練が始まりました。「自分の気持ちを伝えられるようになる」「我慢することを覚える」が目標となりました。訓練は、子どもの年齢に合わせて、遊びを用いて、やりたいことを通して身体の動かし方、そして言葉をみてくれています。外来保育も併せると、3つの療育になりますが、ある時は作業療法と言語聴覚療法、またある時は言語聴覚療法と外来保育というような組み合わせで、週に2回ずつ受けています。

今、半年が過ぎ、今は言葉も増えて、単語や名詞が主だった言葉も、動作や場面に合わせて出せるようになってきました。前は歌を歌わなかったのですが、外来保育では、歌ったり、太鼓を楽しそうにたたいたり、以前はみられなかつことがみられるようになりました。先日は、外来看護師さんのことを初めて「先生」と呼んだので、私自身、びっくりで、とてもうれしかったです。以前は数十分も続いたかんしゃくも、今はだいぶ変わってきました。私が伝えることもだいぶ伝わるようになったように感じ、私自身、だいぶ気持ちが楽になりました。子どもが気持ちを出せるようになったからだと感じています。これからも療育や人と接しながら成長してくれればと願っています。

(母)

## 支援学校訪問教室



大分県立臼杵支援学校 教諭 亀山 栄子

本年度「恵の聖母の家」で授業を実施している児童生徒は3名です。週に2回、授業を行っています。教員は、昨年度に引き続いて和田忍と今年度から新しく亀山栄子と衛藤理恵子が加わり3名になりました。よろしくお願いします。

訪問学級では、それぞれの児童生徒の「目標」を決めて、「身体を動かそう」「曲を聴こう」「作ってみよう」等の授業に取り組んでいます。また、スクーリングや学校行事等も可能な範囲で参加できればと考えています。今年度は、5月に行われた運動会に中学部の生徒が参加し、笑顔いっぱいで演技をしてくれました。

さて、大分県では、「タブレット型端末を有効活用して授業の質を向上させることで、特別支援学校の幼児児童生徒が、学校内外での生活上の困りを解消し、社会的自立に向けたバリアフリー化を目指す」という事業に取り組んでいます。今年度は、新しい取り組みとして、訪問教育やベッドサイド学習をしている児童生徒が同年齢の児童生徒と交流する学習機会を保障しようと『遠隔

授業』の実施に向けて動き出しました。

「恵の聖母の家」での授業でも、iPadを活用して授業に取り組んでいます。音楽を聴いたり、映像を見たりすることが多いのですが、様々なアプリも利用しています。わずかに画面に触れるだけでお絵かきができるアプリ(お絵かきをすると音が鳴ったり、描いた絵が動き出したりします)、発語によるコミュニケーションが難しいお子さんのコミュニケーションをサポートする「気持ちを伝えるカードアプリ」(コミュニケーションの力を高める学習に活用しています)等々…。児童生徒の「目標」に向けて、iPadを活用し取り組んでいます。これから始まる『遠隔授業』では、子どもたちがどんな反応を見てくれるのか、今から楽しみです。

1年間、訪問学級の児童生徒が楽しく学習できるようがんばつていきたいと思っています。

今後とも、ご協力よろしくお願いします。



# ☆ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ☆

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前 ②職種 ③お住まい ④趣味 ⑤一言

## Meguminoseibo



- ①松本智子(まつもとともこ)さん
- ②保育士
- ③豊後大野市
- ④朝のジョギングです。夜明け前の月や星が輝かう空や、薄明るくなり始めた朝焼けのきれいな空など、季節や時間によって、様々な朝の空を見ながら走るのは、とても気持ちが良いです。わずか10分の時間ですが、いろいろなことを考えるとこともできる朝の大好きな一人の時間です。
- ⑤初心を忘れず、丁寧な支援を心がけていきたいです。



## Meguminoseibo



- ①安東優里(あんどうゆり)さん
- ②作業療法士
- ③大分市
- ④中学校からずっとトランペットをしていて、今は一般団体でマーチングをしています。年に5、6回は演奏会をして、毎年、10月の全国大会に向けて頑張っています。全国大会に行ったこともあります。あと、最近はボルダリングにはまっています。まだ始めて3か月くらいですが、コースを達成できたことが嬉しいです。身体を動かすことが好きなので楽しんでいます。
- ⑤まだまだ勉強不足ですが、一生懸命頑張ります!



## Meguminoseibo



- ①嵯峨武志(さがたけし)さん
- ②社会福祉士
- ③大分市
- ④子どもが寝た後に食べるポテトチップス。
- ⑤これまで高齢者福祉の分野で働いていました。わからないことがたくさんあります、これからよろしくお願ひします。



## Meguminoseibo



- ①吉田知佳(よしだちか)さん
- ②作業療法士
- ③臼杵市
- ④観光地巡りが好きです。宮崎、熊本には車でよく行っています。家から近いので、ちょっと出かけるには最適です。高千穂、阿蘇の大観望や草千里は、景色が良く、気持ち良くさせてくれます。熊本では赤牛を食べたのですが、とても美味しかったです。
- ⑤まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張ります。



## 人事

▼新規採用  
二〇一八年四月一日付

作業療法士 安東 優里  
保育士 吉田 知佳  
社会福祉士 松本 智子  
嵯峨 武志  
被服・洗濯 津田 大地  
看護助手 井野上 育子  
▼退職  
二〇一八年六月三十日付

第33回国民文化祭・おおいた2018  
第18回全国障害者芸術・文化祭  
おおいた大会

## お知らせ



惠の聖母の家の入所利用者も全国障害者芸術文化祭に絵画等八点を出展する予定です。期間は、十月六日から十一月二十五日まで。場所は大分県立美術館OPAMです。お近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄り下さい。

一般的の個人や団体が全国規模の発表、競演、交流する場を提供し、新しい芸術文化の創造を促すことを目的とした国民文化祭が、今年は大分県で開催されます。同時に、芸術の発表や交流の場を提供することで、障害者の理解や社会参加を促進する文化祭も開催されます。大分県は、障害の有無にかかわらず、誰もが参加し、楽しむことができる大会を目指すとしています。

## ◇各ご連絡・ご相談先

発達外来（初診受付）…0974-32-7778

児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784

保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護

相談支援事業所こころ…0974-32-7788

訪問看護あんな・地域連携室…0974-32-7667

外来保育きっず………0974-32-7778

恵の聖母の家（代表）………0974-32-7770

# 行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ◎…個別面談  
 ④…権利擁護・虐待防止部会 ⑤…全体朝礼 ⑥…労働安全衛生委員会  
 ⑦…リスクマネジメント部会 ⑧…入浴日

2018年9月			10月			11月			12月		
1	土		1	月	⑨	1	木	⑩ 行事委員会	1	土	クリスマス総練習
2	日		2	火	⑩	2	金		2	日	
3	月	⑨	3	水	⑨	3	土	⑪ 樫の実コンサート	3	月	⑨
4	火	⑩⑪	4	木	⑩	4	日		4	火	⑩
5	水	⑨	5	金	⑨	5	月	⑨	5	水	⑨
6	木	⑩	6	土		6	火	⑩	6	木	⑩
7	金	⑨	7	日		7	水	⑨	7	金	⑨
8	土	⑪ ファミリーフェスティバル	8	月		8	木		8	土	クリスマスの集い
9	日		9	火	⑩	9	金	⑨	9	日	
10	月	⑨	10	水	⑩	10	土		10	月	⑨
11	火	⑩	11	木	しまむら	11	日		11	火	⑩
12	水	⑨	12	金	⑨	12	月	⑨	12	水	⑨
13	木		13	土		13	火	⑩	13	木	もちつき
14	金	⑨	14	日		14	水	⑨	14	金	⑨
15	土		15	月	⑨	15	木	⑩	15	土	
16	日		16	火	⑩ 施設内レク	16	金	⑨	16	日	
17	月	⑨	17	水	⑨	17	土		17	月	⑨
18	火	⑩	18	木	⑪ パークプレイス大分	18	日		18	火	⑩⑪
19	水	⑩	19	金	⑨	19	月	⑨	19	水	⑨
20	木	⑪ パークプレイス大分	20	土		20	火	⑩	20	木	⑩
21	金	⑨	21	日		21	水	⑩	21	金	
22	土		22	月	⑨	22	木	⑨	22	土	⑨
23	日		23	火	⑩	23	金		23	日	
24	月	⑨	24	水	⑨	24	土		24	月	サンタプレゼント
25	火	⑩	25	木		25	日		25	火	クリスマスミサ
26	水	⑨	26	金	⑨	26	月	⑨	26	水	⑨
27	木	⑪ マルショク	27	土		27	火	⑩	27	木	
28	金	⑨	28	日		28	水	⑨	28	金	⑨
29	土		29	月	⑨	29	木		29	土	
30	日		30	火		30	金	⑨	30	日	
			31	水	⑨				31	月	⑨

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

## 編集後記

園内報でも話が出ていますが、今年の夏は酷暑でした。園内報42号を発行する頃には、暑さが少しでもおさまり、皆さまが過しやすい気候となっていますように…☆  
 また10月には、第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会が開かれます。皆さまにとって、良き大会となりますように☆彌 (S.M)